

特別展(企画展示室1・2)

珠玉の東京富士美術館コレクション  
西洋絵画の400年

Masterpieces from Tokyo Fuji Art Museum  
400 Years of Western Paintings

4月12日[土]ー6月8日[日]  
Apr. 12[Sat.]ーJun. 8[Sun.]

1983年に八王子に開館した東京富士美術館の西洋絵画コレクションから厳選された約80点の絵画によって、ルネサンスから現代まで400年を超える西洋絵画の歴史を振り返ります。きら星のごとき巨匠たちの傑作の数々に目を奪われるだけでなく、理念や思想を伝える手段としての絵画から、色彩と形態の喜びをうたい上げる絵画へと、時代とともに変貌するその本質を「まるで美術の教科書」のように鑑賞することができます。



ピエール＝オーギュスト・ルノワール(赤い服の女) 1892年頃 油彩・カンヴァス  
東京富士美術館蔵 ©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPParcom

大カブコン展  
ー世界を魅了するゲームクリエイション

Capcom Creation : Moving hearts across the globe

7月5日[土]ー9月7日[日]  
Jul. 5[Sat.]ーSep. 7[Sun.]

1983年の創業から世界のゲームソフトメーカーに成長した現在まで、その本社を大阪に置くカブコンは、数多くのタイトルを開発し、世界の人々を魅了してきました。本展では開発者たちの「手」による企画書や原画、ポスターやパッケージなどのグラフィックワーク、体験型コンテンツ、最新技術など、ゲーム誕生の壮大なプロセスとそこに関わるクリエイターたちの想像力と実現力を惜しみなく展覧会という場に投入し、日本が誇るゲーム文化をあらためて捉えなおす機会を創出します。



大カブコン展：キービジュアル ©CAPCOM

藤田嗣治 絵画と写真

Foujita : Painting and Photography

9月27日[土]ー12月7日[日]  
Sep. 27[Sat.]ーDec. 7[Sun.]

藤田嗣治(1886-1968)は、「美しき乳白色の下地」と讃えられたその絵画で世界的に知られた、エコール・ド・パリを代表する画家です。いくつかのカメラを所有していた藤田は、生涯にわたって数千点におよぶ写真を残しました。本展では、絵画に現れる写真の断片を徹底的に探り当て、藤田の写真活用のプロセスを検証します。日本とフランス・エソンヌ県に現存する写真を厳選して紹介し、描くことと撮ることの間を絶えず行き来した「眼の軌跡」を追いかけて、知られざる魅力に迫ります。



藤田嗣治(猫を抱く少女)1949年 個人蔵(名古屋市美術館寄託)  
©Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E5929

コレクション×現代美術  
名古屋市美術館をめぐる4つの対話

Four Dialogues: Contemporary Artists  
collaborate with the Collection

1月9日[金]ー3月8日[日]  
Jan. 9 [Fri.]ーMar. 8 [Sun.]

アートの最前線に立つ作家たちは、名古屋市美術館をどのように見るのでしょうか？本展では、愛知にゆかりのある齊と公平太、田村友一郎、蓮沼昌宏、三瓶玲奈の4人が、美術館の作品と対話しながら展示空間をつくります。コレクションやその背景にある歴史といった要素に四人四様の方法でアプローチして見てくる、作品や美術館の姿をご覧いただきます。作品や美術館の新たな側面を見つけ、そして、美術館のこれらについても考える機会となるでしょう。



名古屋市美術館外観

常設展示室3

特集 Special Exhibition from the Collection  
匹亞会結成70年 結成前夜

70th Anniversary of Birth of Hitsuakai:  
The Eve of Formation

4月12日[土]ー6月8日[日]  
Apr. 12[Sat.]ーJun. 8[Sun.]

匹亞会は、1955年に結成、1960年まで活動した名古屋の前身日本画グループです。堀尾実、竹田大助、水谷勇夫をはじめとするメンバーは、日本画の新しい表現を求めて、反理窟の姿勢をもって前へへと突き進みました。匹亞会結成前名古屋・中央(東京)の動乱の様子から、匹亞会結成に至るまでを辿ります。



堀尾実(企望) 1956年

特集 Special Exhibition from the Collection  
河原温 一日を 一日で えがく

On Kawara Painting a Day in a Day

7月5日[土]ー9月7日[日]  
Jul. 5[Sat.]ーSep. 7[Sun.]

午前0時から24時間のあいだに、その日の日付を描く、河原温の「Today」シリーズは、コンセプチュアルアートとして世界的に評価の高い作品です。定められたルールにのっとりクールに描き続けられる日付、しかしそれら一つ一つ、あるいは一日の連続として眺めたとき、見る人に起こる感情はどのようなものでしょうか？ 今回は、当館が所蔵する「Today」シリーズの作品をほぼすべて展示します。  
★夏休み子どものプログラム



河原温 FEB.23.1966 (Today) (1966-2013)より  
1966年©One Million Years Foundation

常設企画展 Special Thematic Exhibition  
近代名古屋の日本画界

The modern Japanese painting (Nihonga) scene in Nagoya

9月27日[土]ー12月7日[日]  
Sep. 27[Sat.]ーDec. 7[Sun.]

戦前の名古屋を中心とした中京圏の様子を、日本画に着目して2章立てで紹介します。第1章「名古屋開府三百年と中京圏の成立」では、明治43年(1910)の「名古屋開府三百年新古今美術展覧会」に出品した日本画家の作品を中心に紹介します。第2章「東海美術協会と次世代の日本画家たち」では、新古今美術協会の機に結成された日本初の民間総合美術団体「東海美術協会」の活動と、大正・昭和戦前期に名古屋を中心に活動した次世代の日本画家たちを作品、資料の両面から取り上げます。



富田范溪(隻城)

博物館連携事業 Learning Exhibit. In Collaboration with Nagoya City Museum  
なごやのうつりかわり

The Changes of Nagoya; Citizens' Lifestyle

1月14日[水]ー3月8日[日]  
Jan. 14[Wed.]ーMar. 8[Sun.]

リニューアル休館中の市博物館と連携し、小学校3年生社会科の単元に対応した事業を実施します。「電化前の暮らし」「電化後の暮らし」を通して、暮らしのうつりかわりを体験できます。  
電化前の暮らし(2024年度会場展)



※一階の力は会館中の土日、および2月11日(水・祝)、2月23日(月・祝)にご覧いただけます。

★夏休み子どものプログラムではご家族で楽しめる参加型プログラムやワークシートをご用意します。

※特別展、常設展、特集、教育普及事業の会期、名称及び内容は、都合により変更されることがありますので、ご了承ください。

広告募集

1

広告募集

2

広告募集

3

広告募集

4